

19983290-01

JC526 U.S. PRO  
09/266922  
03/12/99

# 日本国特許庁

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office.

出願年月日  
Date of Application:

1998年 3月23日

出願番号  
Application Number:

平成10年特許願第074062号

出願人  
Applicant(s):

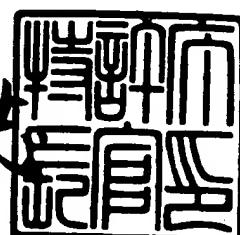
プラザー工業株式会社

PRIORITY DOCUMENT  
CERTIFIED COPY OF

1998年11月13日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

佐山 建



【書類名】 特許願  
【整理番号】 97343000  
【提出日】 平成10年 3月23日  
【あて先】 特許庁長官 殿  
【国際特許分類】 H04N 1/00  
【発明の名称】 通信端末装置  
【請求項の数】 5  
【発明者】  
【住所又は居所】 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号 ブラザー工業株式会社内  
【氏名】 千田 進  
【特許出願人】  
【識別番号】 000005267  
【氏名又は名称】 ブラザー工業株式会社  
【代理人】  
【識別番号】 100098431  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 山中 郁生  
【連絡先】 052-263-3131  
【選任した代理人】  
【識別番号】 100097009  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 富澤 孝  
【選任した代理人】  
【識別番号】 100105751  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 岡戸 昭佳  
【手数料の表示】  
【予納台帳番号】 041999

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9506366

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 通信端末装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の仕様が予め格納される第1仕様記憶手段と、前記第1仕様記憶手段から1つの仕様を選択する選択手段と、前記選択手段により選択された仕様が格納される第2仕様記憶手段と、前記第2仕様記憶手段に格納された前記仕様が所定の仕様か否か判断する判断手段と、

前記第2仕様記憶手段に格納された前記仕様が所定の仕様であると判断された場合には、メインプログラムを起動するように制御する制御手段とを備えたことを特徴とする通信端末装置。

【請求項2】 前記仕様は、国若しくは地域における通信に関するパラメータを含むことを特徴とする請求項1に記載の通信端末装置。

【請求項3】 前記メインプログラムは、前記第2仕様記憶手段に格納されている仕様に基づいて動作することを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の通信端末装置。

【請求項4】 前記第2仕様記憶手段に格納された前記仕様のパラメータを出力する出力手段を備えたことを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれかに記載の通信端末装置。

【請求項5】 前記第1仕様記憶手段は、読み出し専用の不揮発性メモリで構成され、

前記第2仕様記憶手段は、書き換え可能な不揮発性メモリにより構成されることを特徴とする請求項1乃至請求項4のいずれかに記載の通信端末装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、通信端末装置の仕様の設定に関し、特に、製造ラインにおいて、複数の仕様から1つの仕様を選択して設定をする場合に、この設定が終了するまでメインプログラムが起動しないようにすることにより、仕様の設定ミスや設定忘

れを防止することが可能となり、製品の品質向上を図ることが可能な通信端末装置に関するものである。

#### 【0002】

##### 【従来の技術】

従来より、各国へ輸出される通信端末装置においては、国毎に通信規格、仕様等が変わるため、これらの通信規格等の相違により各国毎の製品の仕様が変更される。そのため、国毎に対応するパラメータ等を記憶する専用の不揮発性メモリを予め製造した後に、その不揮発性メモリが組み込まれた通信端末装置を製造する方法が一般的に採用されている。

しかし、こうした専用の不揮発性メモリを制御基板に装填した通信端末装置が製造される場合に、各国毎の出荷予定台数が製造後に変更されると、別の輸出国向けに前記パラメータ等を変更するといった修正ができないため、直ちに過剰在庫になったり在庫不足が生じたりすることがある。

そのため、通信規格等に対応するパラメータ等を製造後に変更できる通信端末装置が種々提案されている。例えば、各国の通信規格等に対応するパラメータ等を複数国分予め記憶メモリに記憶しておき、その内の一の国に対応するパラメータ等を選択できるような構成の通信端末装置が提案されている。このような構成の通信端末装置であれば、各国毎の出荷予定台数が製造後に変更されても、別の輸出国向けに前記パラメータ等を変更することが可能となり、過剰在庫等の発生等を防ぐことが可能となる。

#### 【0003】

##### 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、各国の通信規格等に対応するパラメータ等を複数国分予め記憶メモリに記憶しておき、その内の一の国に対応するパラメータ等を選択するため、工場作業者が仮のパラメータの仕様や特定国のパラメータの仕様で通信端末装置のメインプログラムを起動した後に、一の国に対応するパラメータ等の仕様を選択して設定する場合には、前記仕様の設定ミスや設定忘れ等が発生しても発見できないおそれがあるという問題がある。

#### 【0004】

本発明は前記従来の問題点を解消するためになされたものであり、予め記憶されている複数の各国毎の仕様から1つ国毎の仕様を選択して設定をする場合に、この設定が終了するまでメインプログラムが起動しないようにすることにより、勝手になされた誤った仕様で通信端末装置のメインプログラムが起動しないため、仕様の設定ミスや設定忘れを防止することが可能となると共に、製品の品質向上を図ることが可能な通信端末装置を提供することを目的とする。

#### 【0005】

##### 【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するため請求項1に係る通信端末装置は、複数の仕様が予め格納される第1仕様記憶手段と、前記第1仕様記憶手段から1つの仕様を選択する選択手段と、前記選択手段により選択された仕様が格納される第2仕様記憶手段と、前記第2仕様記憶手段に格納された前記仕様が所定の仕様か否か判断する判断手段と、前記第2仕様記憶手段に格納された前記仕様が所定の仕様であると判断された場合には、メインプログラムを起動するように制御する制御手段とを備えたことを特徴とする。

#### 【0006】

このような特徴を有する請求項1に係る通信端末装置によれば、製造ラインにて第1仕様記憶手段に記憶されている複数の仕様から1つの仕様が選択され、第2仕様記憶手段に記憶される。そして、この選択された仕様が所定の仕様であると判断された場合に、制御手段によりメインプログラムが起動する。

これにより、複数の仕様から1つの仕様を選択する場合に、所定の仕様が選択されなければメインプログラムが起動しないため、所定の仕様の設定忘れを防止することが可能になると共に、メインプログラムを誤った仕様の設定で起動することを防止することが可能になる。また、製品の品質向上を図ることが可能になる。

#### 【0007】

また、請求項2に係る通信端末装置は、請求項1に記載の通信端末装置において、前記仕様は、国若しくは地域における通信に関するパラメータを含むことを特徴とする。

**【0008】**

このような特徴を有する請求項2に係る通信端末装置によれば、請求項1に記載の通信端末装置において、前記複数の仕様は、複数の国若しくは地域の通信仕様に関するパラメータを含むため、各国の通信仕様を予め第1仕様記憶手段に記憶しておき、製造ラインにて輸出先の通信仕様を選択して第2仕様記憶手段に記憶される。そして、この選択された通信仕様が所定の仕様であると判断された場合に、制御手段によりメインプログラムが起動する。

これにより、複数の通信仕様から1つの通信仕様を選択する場合に、所定の通信仕様が選択されなければメインプログラムが起動しないため、所定の通信仕様の設定忘れを防止することが可能になると共に、メインプログラムを誤った仕様の設定で起動することを防止することが可能になる。また、製品の品質向上を図ることが可能になる。

**【0009】**

また、請求項3に係る通信端末装置装置は、請求項1又は請求項2に記載の通信端末装置において、前記メインプログラムは、前記第2仕様記憶手段に格納されている仕様に基づいて動作することを特徴とする。

**【0010】**

このような特徴を有する請求項3に係る通信端末装置によれば、請求項1又は請求項2に記載の通信端末装置において、第2仕様記憶手段に格納されている所定の仕様に基づいてメインプログラムが動作するため、メインプログラムが誤った仕様に基づいて動作することを確実に防止することが可能となる。また、所定の仕様が第2仕様記憶手段に記憶されなければ、メインプログラムは、動作できないため、所定の仕様の選択忘れを確実に防止することが可能となる。

**【0011】**

また、請求項4に係る通信端末装置は、請求項1乃至請求項3のいずれかに記載の通信端末装置において、前記第2仕様記憶手段に格納された前記仕様のパラメータを出力する出力手段を備えたことを特徴とする。

**【0012】**

このような特徴を有する請求項4に係る通信端末装置によれば、請求項1乃至

請求項3のいずれかに記載の通信端末装置において、前記第2仕様記憶手段に格納された前記仕様のパラメータを出力する液晶ディスプレイ等の出力手段を備えているため、第1仕様記憶手段から所定の仕様を選択する時に、前記第2記憶手段に記憶された通信仕様等のパラメータをこの液晶ディスプレイ等の出力手段を介して知ることができるので、所定の仕様の選択ミスを確実に防止することが可能となる。

#### 【0013】

さらに、請求項5に係る通信端末装置は、請求項1乃至請求項4のいずれかに記載の通信端末装置において、前記第1仕様記憶手段は、読み出し専用の不揮発性メモリで構成され、前記第2仕様記憶手段は、書き換え可能な不揮発性メモリにより構成されることを特徴とする。

#### 【0014】

このような特徴を有する請求項5に係る通信端末装置によれば、請求項1乃至請求項4のいずれかに記載の通信端末装置において、前記複数の仕様は、第1仕様記憶手段を構成する読み出し専用の不揮発性メモリに予め格納され、製造ラインにて選択された所定の仕様は、第2仕様記憶手段を構成する書き換え可能な不揮発性メモリに格納される。

これにより、製造ラインで所定の仕様を選択して第2仕様記憶手段に格納する場合に、誤った仕様を選択して第2仕様記憶手段に格納しても、この第2仕様記憶手段を初期化して容易に所定の仕様を第1仕様記憶手段から読み出して格納することが可能となり、通信端末装置の品質向上を図ることが可能となる。

#### 【0015】

##### 【発明の実施の形態】

以下、本発明に係る通信端末装置をファクシミリ装置について具体化した実施形態に基づいて図面を参照しつつ詳細に説明する。先ず、本実施形態に係るファクシミリ装置の概略構成について図1に基づき説明する。図1は本実施形態に係るファクシミリ装置の外観斜視図である。

#### 【0016】

図1において、ファクシミリ装置1は装置本体2を有し、装置本体2の右側面

には、電源コード3及び子機（図示せず）と通話するためのアンテナ4が付設されている。また、装置本体2の上面には操作パネルユニット5が配設されており、かかる操作パネルユニット5には液晶ディスプレイ6が配設されるとともに、マイクMが配設されている。かかるマイクMは、後述するスピーカホンキー14を介してスピーカホンモード（受話器10がマイクMとスピーカ26（図3参照）とに切り換えられて、受話器10を取ることなく通話を行えるモード）に切り換えられた際に、通話者の声を探音するものである。更に、操作パネルユニット5上には、各種のキー群が配設されている。尚、各キーについては後述する。

#### 【0017】

また、操作パネルユニット5の後方位置には記録用紙を積層した状態でスタッカする用紙スタッカ7が設けられており、更に、用紙スタッカ7の後方位置には用紙サポート8が配置されている。尚、装置本体2の右側には受話器載置部9が設けられており、受話器載置部9上には受話器10が載置される。

#### 【0018】

次に、前記操作パネルユニット5上に配置されたキー群の機能について図2に基づき説明する。図2は本実施形態に係るファクシミリ装置の操作パネルユニット5の平面図である。

図2において、操作パネルユニット5上で左側位置には、ダイアル入力を行うためのダイアルキー11が配置されている。かかるダイアルキー11には、「0」乃至「9」の数値キー、アスタリスクキー12、及び、シャープキー13が包含されている。また、ダイアルキー11の左下側にはスピーカホンキー14が配置されており、かかるスピーカホンキー14は、通話をマイクMとスピーカ26に切り換えてスピーカホンモードを設定するためのキーである。また、操作パネルユニット5のダイアルキー11の右側には、各種機能を選択するための機能ボタン16等が設けられている。更に、操作パネルユニット5の右側下方には、ファクシミリ送信をスタートするスタートキーP、及びファクシミリ送信等を停止させる停止ボタン15等のファクシミリ装置1として必要な各種のキーが配置されている。

#### 【0019】

続いて、前記ファクシミリ装置1の制御系について図3に基づき説明する。図3は本実施形態に係るファクシミリ装置1の制御系を示すブロック図である。図3において、ファクシミリ装置1の制御系は、CPUを核として構成された制御部17を有する。制御部17には、読み出し専用の不揮発性メモリとしてのROM18A、書き換え可能な不揮発性メモリとしてのEEPROM18B、及びRAM19が接続されている。ここに、ROM18Aは、ファクシミリ装置1の読み取り動作、送受信動作または記録動作等の基本的の動作用制御プログラムを記憶する他に、各国の通信規格等に対応するパラメータ等を、複数国分記憶する。また、ROM18Aには、複数国分のパラメータ等から、特定の国若しくは地域等に関するパラメータを選択するプログラムを記憶し、更に、この選択された国若しくは地域等に関するパラメータを読み出した後に、EEPROM18Bにこの選択された国若しくは地域等に関するパラメータを格納する後述の図5に示されるプログラム等が格納されている。また、EEPROM18Bは、選択された通信規格等に対応するパラメータ等や、国選択フラッグ等が格納される。また、RAM19は、CPUを介して演算された各種のデータや電話回線を介して受信される音声データや画像データ等を一時的に記憶するものである。また、制御部17には、液晶ディスプレイ(LCD)6を有する操作パネルユニット5、用紙スタッカ7から装置本体2内に送給された原稿の文字、図形等を読み取るための読み取スキヤナを含む読み取ユニット20が接続されている。更に、制御部17には、カッタ駆動モータを介してカッタを駆動して記録紙をカットする記録紙カッタユニット21、電話回線を介して受信された画像データを記録紙上に印字する印字ヘッドを含む記録ユニット22、及び、印字ヘッドを駆動する駆動機構、記録紙の送り制御を行う記録紙送り機構等を含む駆動ユニット23が接続されている。

## 【0020】

更に、制御部17には、受話器10と共にNCU(Network Control Unit)24を介して電話回線25が接続されており、また、スピーカ26、マイクM、電源27が接続されている。尚、スピーカ26は、スピーカホンモード時に通話者の声を発音したり、また、前記RAM19に一時的に記憶された音声データを

再生する際に使用されるものである。

### 【0021】

また、ダイヤルキー11等は国選択の選択番号等を入力して各国の通信規格等に対応するパラメータ等の仕様を選択する選択手段を構成する。ROM18Aは複数の仕様が格納される第1仕様記憶手段を構成し、EEPROM18Bは選択された1つの仕様を記憶する第2仕様記憶手段を構成する。また、CPUを核とする制御部17は、選択手段によって選択された仕様が、所定の仕様か否かを判断する判断手段、及びこの選択された仕様が所定の仕様の場合には、メインプログラムを起動するように制御する制御手段を構成する。更に、液晶ディスプレイ6は、選択されてEEPROM18Bに格納されたパラメータが表示される出力手段を構成する。

### 【0022】

前記のように構成されたファクシミリ装置1において、ファクシミリ送信を行う場合には、用紙スタッカ7に送信原稿をセットするとともに、ダイアルキー11により送信先のファクシミリ番号を入力した後、操作パネルユニット5上のスタートキーPを押下する。これにより、原稿の画像データが読み取りユニット20を介して読み取られるとともに、EEPROM18Bに格納されている通信規格等のパラメータに基づいて、変調・符号化されてNCU24、電話回線25を介して送信相手先に送信される。また、画像データが送信されて来た際には、その画像データが電話回線25、NCU24を介して受信され、制御部17は、EEPROM18Bに格納されている通信規格等のパラメータに基づいて、その受信信号を復調・復号化して画像データを再現して、RAM19に格納する。そして、このRAM19に格納された画像データを、記録ユニット22の印字ヘッド及び駆動ユニット23を駆動制御しながら記録紙上に印字させるとともに、印字終了後記録紙カッタユニット21を介して記録紙をカットする。

### 【0023】

ここでROM18Aに格納されている複数国分の仕様のパラメータうち、通信に関するパラメータの一例を図4に基づいて説明する。図4は本実施形態に係るファクシミリ装置1のROM18Aに格納されている複数国分のダイヤルトーン

とビジートーンのデータテーブルを示す図である。

このROM18Aには、ベルギー、イタリア、スウェーデンの3カ国分の仕様の種々のパラメータが格納されており、その中の各国の通信に関するダイヤルトーンとビジートーンのパラメータを図4のデータテーブル30に示す。

図4に示されるように、データテーブル30は、「国名」、ダイヤルトーンの「検出の有無、周波数(Hz)、パターン(秒)」、及びビジートーンの「検出の有無、周波数(Hz)、パターン(秒)」から構成されている。先ず、「国名」が「ベルギー」のダイヤルトーンの「検出の有無、周波数(Hz)、パターン(秒)」は、「検出有り、450Hz、連続パターン」であり、ビジートーンの「検出の有無、周波数(Hz)、パターン(秒)」は、「検出有り、450Hz、0.5秒間ON-0.5秒間OFFのパターン」である。また、「国名」が「イタリア」のダイヤルトーンの「検出の有無、周波数(Hz)、パターン(秒)」は、「検出有り、425Hz、0.6秒間ON-1.0秒間OFF乃至0.2秒間ON-0.2秒間OFFのパターン」であり、ビジートーンの「検出の有無、周波数(Hz)、パターン(秒)」は、「検出無し、425Hz、0.2秒間ON-0.2秒間OFFのパターン」である。さらに、「国名」が「スウェーデン」のダイヤルトーンの「検出の有無、周波数(Hz)、パターン(秒)」は、「検出有り、425Hz、連続パターン」であり、ビジートーンの「検出の有無、周波数(Hz)、パターン(秒)」は、「検出有り、425Hz、0.25秒間ON-0.25秒間OFFのパターン」である。

#### 【0024】

これにより、ROM18Aには、ベルギー、イタリア、及びスウェーデンの3カ国分の通信に関するダイヤルトーン及びビジートーンのパラメータが予め格納されており、後述するように1カ国のパラメータが選択されて、EEPROM18Bに格納される。

#### 【0025】

次に、前記のように構成されたファクシミリ装置1のROM18Aに予め格納された複数国分の仕様のパラメータを製造ラインにて選択し、EEPROM18Bに格納後、メインプログラムを起動する制御処理の手順について図5に基づい

て説明する。図5は本実施形態に係るファクシミリ装置1の製造ラインにて輸出先の仕様を選択する場合の制御処理を示すフローチャートである。

#### 【0026】

図5に示すように、ステップ（以下、Sと略記する）1において、製造ラインの組立ラインで組み立てられたファクシミリ装置1は、各種の調整を行うために製造ラインの調整ラインで電源を投入される。そして、ファクシミリ装置1は、電源を投入されるとROM18に格納されている起動プログラムに従って、先ず、国選択フラッグをEEPROM18Bから読み出し、リセットして、再度EEPROM18Bに格納する。

#### 【0027】

次に、S2にてEEPROM18Bに国選択フラッグがセットされているかどうか判断する。そして、国選択フラッグがセットされていない場合には（S2：NO）、即ち、輸出先の仕様が未だ選択されて、EEPROM18Bに格納されていない場合には、輸出先の仕様を選択して、EEPROM18Bに格納するようく制御するための国選択プログラムがROM18Aから読み出されて、国選択処理の実行が開始される（S3）。

#### 【0028】

先ず、予めROM18Aに格納されている国名が、ダイヤルキー11を介して「選択番号」が入力されるまで、選択番号と共に液晶ディスプレイ6に順次、所定時間（本実施形態では、約1秒間）ずつ繰り返し表示される（S4）。例えば、「1：ベルギー」→「2：イタリア」→「3：スウェーデン」→「1：ベルギー」→・・・と液晶ディスプレイ6に表示され、この場合の「選択番号」は、「ベルギー」は「1」、「イタリア」は「2」、及び「スウェーデン」は「3」であることを表している。

#### 【0029】

そして、S5において、調整ラインの作業者が、指定された輸出先の国に対応する「選択番号」のダイヤルキー11の数値キーを押下すると、この「選択番号」に対応する国の仕様がROM18Aから読み出されて、EEPROM18Bに格納される。

続いて、この選択された「選択番号」に対応する国名が、選択番号と共に液晶ディスプレイ6に約10秒間表示され、修正の有無が調整ラインの作業者に問われる(S6)。例えば、数値キーの「2」が押下された場合には、液晶ディスプレイ6に「2：イタリア？」と表示される。

そして、この「選択番号と国名」の表示開始から約10秒以内に、他の選択番号に対応する数値キーが押下された場合には、新たな「選択番号」が入力されたものと判断し(S6: NO)、再度、S5以下の処理が実行される。

また、この「選択番号と国名」の表示開始から10秒以内に、他の選択番号に対応する数値キーが押下されない場合には、指定された輸出先の国に対応する仕様が選択されたと判断する(S6: YES)。そして、EEPROM18Bから国選択フラッグを読み出し、この国選択フラッグをセットして、再度、EEPROM18に格納後、再び、S2以降の処理が実行される。

#### 【0030】

そして、S2において、EEPROM18Bに国選択フラッグがセットされていれば(S2: YES)、メインプログラムがROM18Aから読み出されて、メインプログラムの実行が開始される(S7)。

続いて、このメインプログラムは、EEPROM18Bに格納されている選択国の仕様(本実施形態の場合には、例えば「イタリア」の仕様)に基づいて動作する、即ち、このファクシミリ装置1は、輸出先の仕様で動作する(S8)。

#### 【0031】

以上詳細に説明した通り本実施形態に係るファクシミリ装置1では、製造ラインの組立ラインで組み立て後、製造ラインの調整ラインで電源を投入されると(S1)、ROM18Aに格納されている輸出先の仕様を選択して、EEPROM18Bに格納するための国選択プログラムが実行され、輸出先の仕様がROM18Aから読み出されてEEPROM18Bに格納される(S2～S6)。そして、EEPROM18Bに輸出先の仕様が格納されると、メインプログラムが起動され(S7)、このEEPROM18Bに格納されている仕様に基づいてファクシミリ装置1は動作する(S8)。

#### 【0032】

したがって、製造ラインでファクシミリ装置1を組み立て後、電源を投入すると、先ず、ROM18Aに格納されている複数国分の仕様の中から輸出先の仕様を選択するプログラムが起動するため、ファクシミリ装置1の輸出先への仕様の設定忘れを確実に防止することが可能となると共に、製品の品質向上を図ることが可能になる。

また、もともとROM18Aから読み出されてEEPROM18Bに格納されている仕様に基づいてメインプログラムが起動するため、メインプログラムが例えば勝手に入力された誤った仕様に基づいて動作することを確実に防止することが可能となる。また、所定の仕様がEEPROM18Bに記憶されなければ、メインプログラムは、動作できないため、所定の仕様の選択忘れを確実に防止することが可能となる。

また、ROM18Aから所定の仕様を選択する時に、選択された仕様の国名等が液晶ディスプレイ6に表示されるため、所定の仕様の選択ミスを確実に防止することが可能となる。

さらに、ROM18Aから輸出先の仕様を選択してEEPROM18Bに格納する場合に、誤った仕様を選択してEEPROM18Bに格納しても、このEEPROM18Bを初期化して容易に所定の仕様をROM18Aから読み出して再度格納することが可能なため、通信端末装置の品質向上を図ることが可能となる。

#### 【0033】

尚、本発明は前記実施形態に限定されることはなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲内で種々の改良、変形が可能であることは勿論である。

#### 【0034】

##### 【発明の効果】

以上説明した通り本発明は、予め記憶されている複数の各国毎の仕様から1つの仕様を選択して設定をする場合に、この設定が終了するまでメインプログラムが起動しないようにすることにより、勝手になされた誤った仕様で通信端末装置が起動しないため、仕様の設定ミスや設定忘れを防止することが可能となると共に、製品の品質向上を図ることが可能な通信端末装置を提供することができる

【図面の簡単な説明】

【図1】

本実施形態に係るファクシミリ装置の外観斜視図である。

【図2】

本実施形態に係るファクシミリ装置の操作パネルユニットの平面図である。

【図3】

本実施形態に係るファクシミリ装置の制御系を示すブロック図である。

【図4】

本実施形態に係るファクシミリ装置のROMに格納されている複数国分のダイヤルトーンとビジートーンのデータテーブルを示す図である。

【図5】

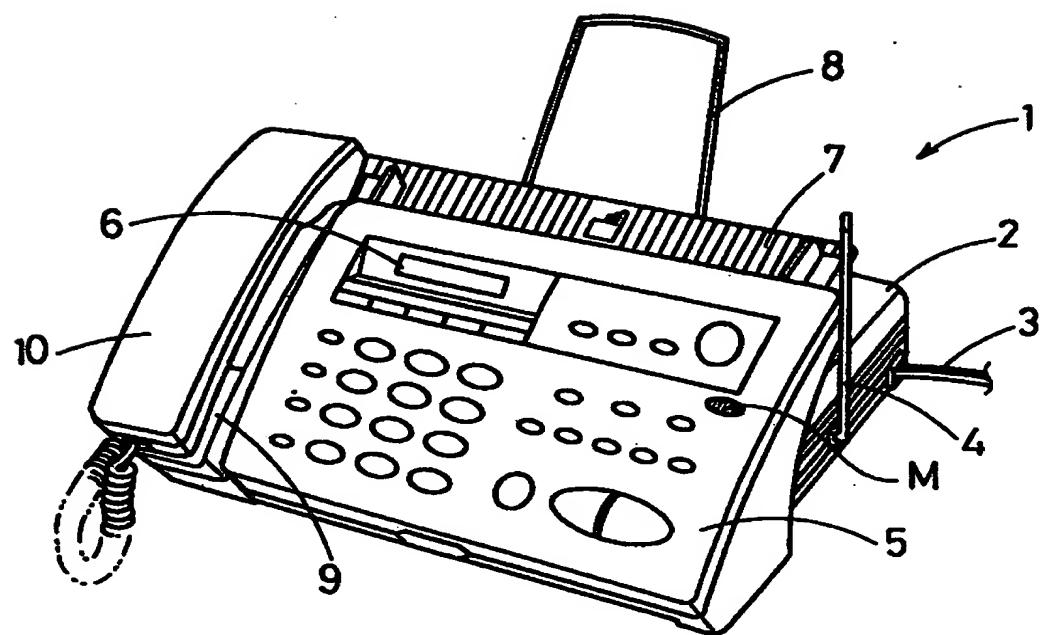
本実施形態に係るファクシミリ装置の製造ラインにて輸出先の仕様を選択する場合の制御処理を示すフローチャートである。

【符号の説明】

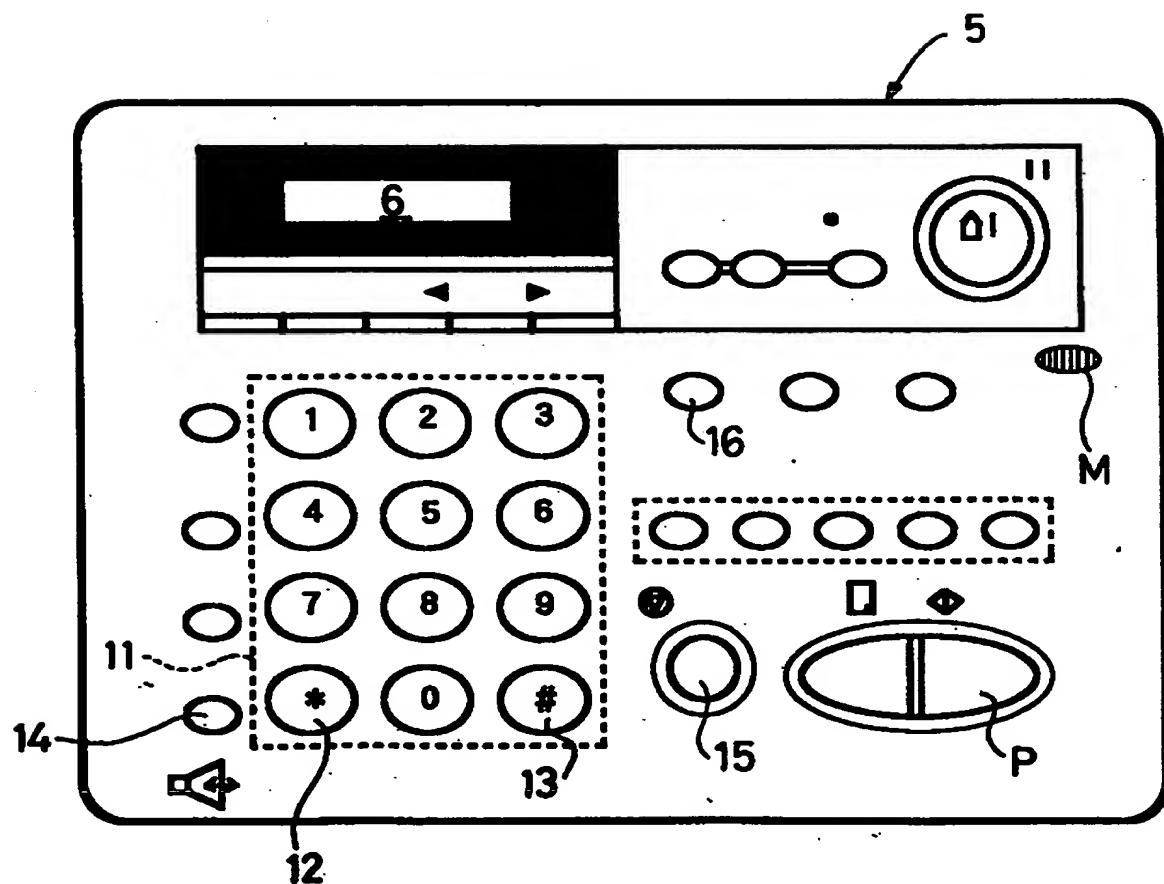
1	ファクシミリ装置
2	装置本体
5	操作パネルユニット
10	受話器
11	ダイアルキー
17	制御部
18A	ROM
18B	EEPROM
19	RAM
24	NCU
25	電話回線

【書類名】 図面

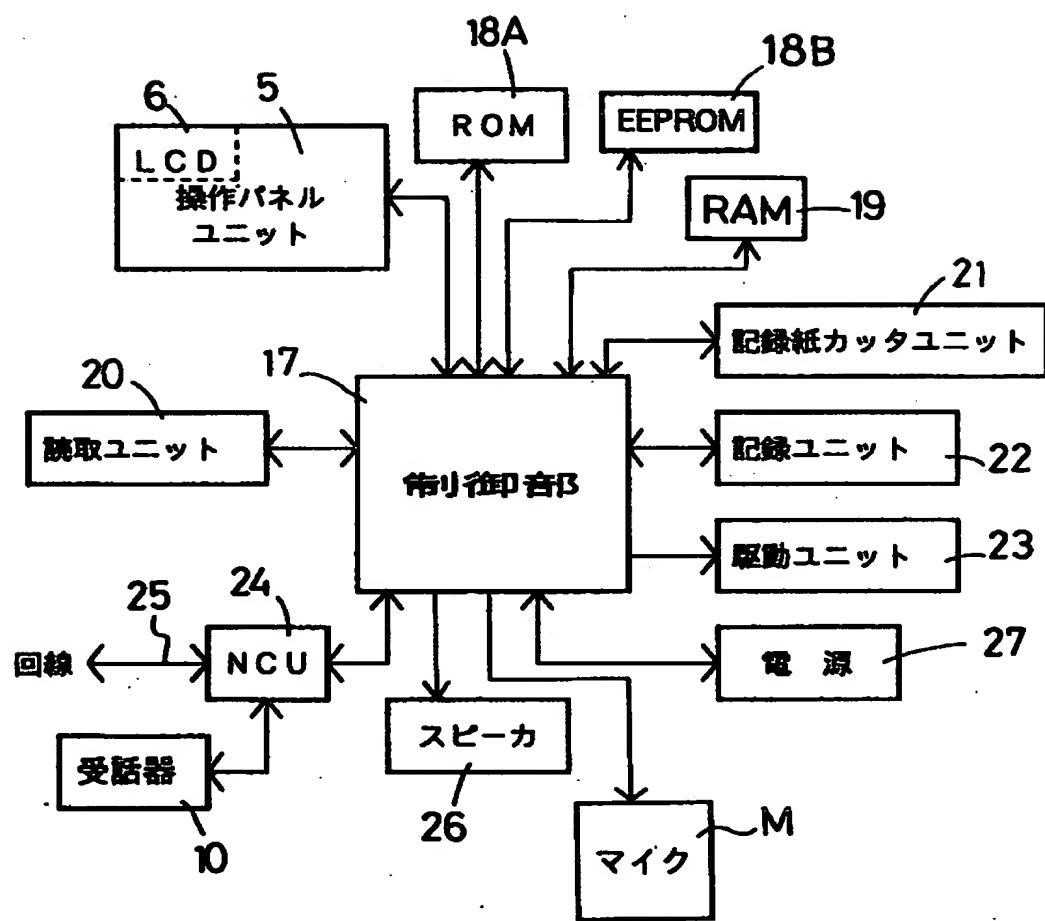
【図1】



【図2】



【図3】

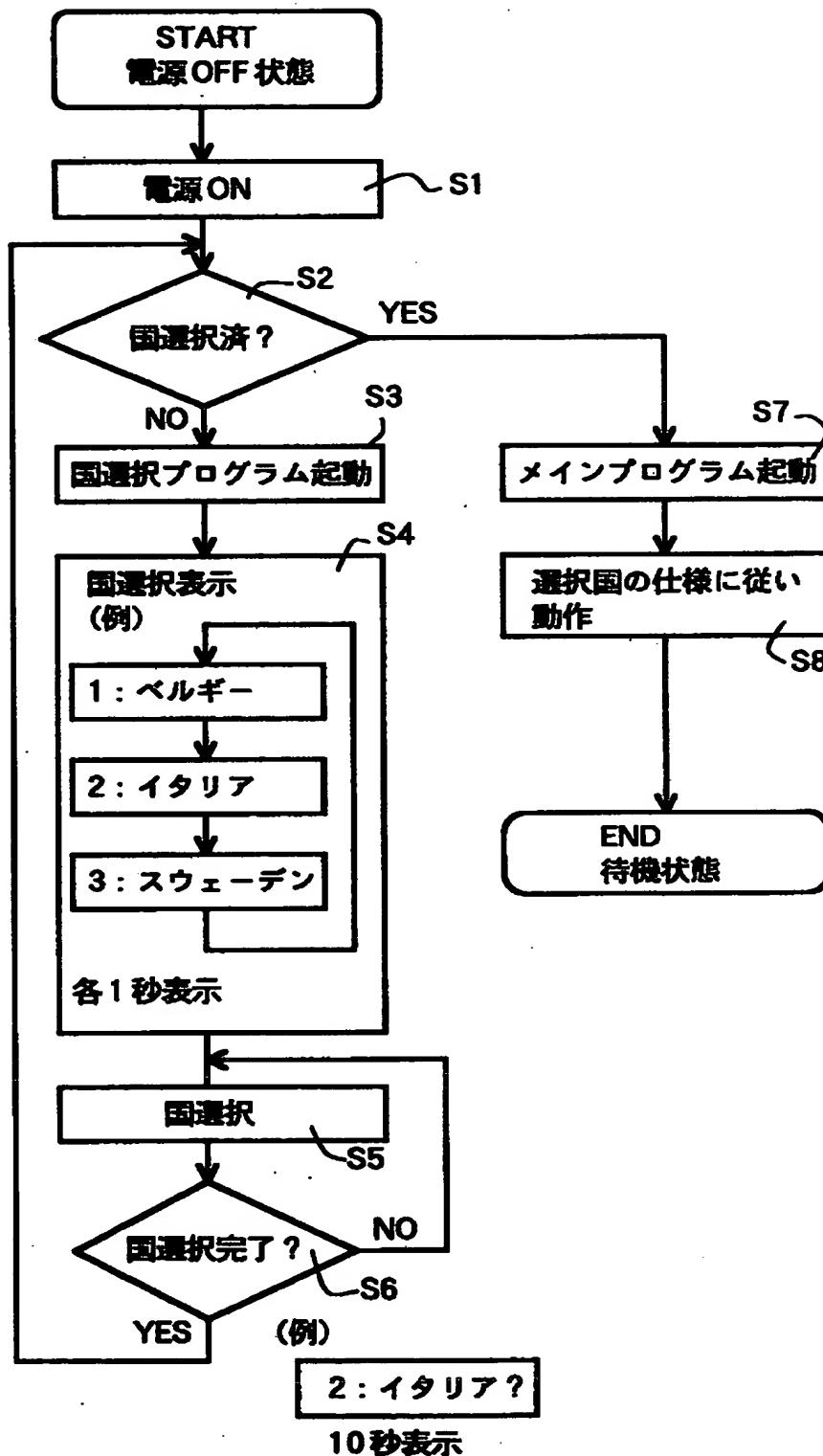


【図4】

30

国名	デイタルトーン			ビジートーン		
	検出	周波数 (Hz)	パターン (s)	検出	周波数 (Hz)	パターン (s)
ベルギー	あり	450	連続	あり	450	ON : 0.5 - OFF : 0.5
イタリア	あり	425	ON : 0.6 - OFF : 1.0 - ON : 0.2 - OFF : 0.2	なし	425	ON : 0.2 - OFF : 0.2
スウェーデン	あり	425	連続	あり	425	ON : 0.25 - OFF : 0.25

【図5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 通信仕様等の仕様の設定ミスや設定忘れを防止することが可能となると共に、製品の品質向上を図ることが可能な通信端末装置を提供する。

【解決手段】 製造ラインの組立ラインで組み立て後、製造ラインの調整ラインで電源を投入されると（S1）、ROM18Aに格納されている輸出先の仕様を選択して、EEPROM18Bに格納するための国選択プログラムが実行され、輸出先の仕様がROM18Aから読み出されてEEPROM18Bに格納される（S2～S6）。そして、EEPROM18Bに輸出先の仕様が格納されると、メインプログラムが起動され（S7）、このEEPROM18Bに格納されている仕様に基づいてファクシミリ装置1は動作する（S8）。

【選択図】 図5

【書類名】 職權訂正データ  
【訂正書類】 特許願

## &lt;認定情報・付加情報&gt;

## 【特許出願人】

【識別番号】 000005267

【住所又は居所】 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号

【氏名又は名称】 ブラザー工業株式会社

## 【代理人】

【識別番号】 100098431

【住所又は居所】 名古屋市中区栄三丁目21番23号 ケイエスイセ  
ヤビル801 コスモス特許事務所

【氏名又は名称】 山中 郁生

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100097009

【住所又は居所】 名古屋市中区栄三丁目21番23号 ケイエスイセ  
ヤビル801 コスモス特許事務所

【氏名又は名称】 富澤 孝

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100105751

【住所又は居所】 名古屋市中区栄三丁目21番23号 ケイエスイセ  
ヤビル801 コスモス特許事務所

【氏名又は名称】 岡戸 昭佳

出願人履歴情報

識別番号 [000005267]

1. 変更年月日 1990年11月 5日

[変更理由] 住所変更

住 所 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号

氏 名 ブラザー工業株式会社